学校番号 404

令和5年度　　国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「精選古典B　新版」（東京書籍）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店） 読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版(数研出版) 三訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法学習ノート(数研出版)						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・3年生では、1，2年生で学んだことを発展、応用し、今までより難易度の高い内容を学習します。
・既に学んだ文法、作品に関する知識を復習し、確実に定着させておきましょう。
・意欲を持って授業に臨み、予習・復習を行なうこと。自分の理解度や苦手な点を知り、対策することが大切です。
・定期考査や受験に向けて、計画的に学習に取り組みましょう。

2．学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出	・発問評価 ・学習課題の提出	・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	「十訓抄」成方といふ笛吹き	○笛をめぐる俊綱，成方のそれぞれの策を読み取る。 ○説話編者が中国の挿話を引用した理由を考える。 ○説話の構成や内容について考えをまとめる。	○	◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
1	赤壁之戦	○中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。 ○正確に音読し，書き下し文にする。 ○語句や句法を理解し，的確に現代語訳する。 ○文脈に即して，内容や人物について理解する。	○	◎	○	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「紫式部日記」女郎花うきたる世	○第一段落の内容を把握する。 ○和歌に表れる詠み手の心情を理解する。 ○頼通の人物評を正しく理解する。 ○作者の心的傾向について考える。 ○作者特有の心理状態を把握する。 ○作者の思索的，内省的傾向を捉える。 ○作者の発想に対してさまざまな角度から検討する。	○	◎		a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「源氏物語」夜深き鶏の声 萩の上露	○話の概略を理解する。 ○登場人物の心情について，理解を深める。 ○二つの異なる場面の結び付きを理解する。 ○登場人物の心情を深く読み味わう。 ○敬語に注意して，本文を正確に理解する。 ○三者の立場の違いを捉える。 ○死の表現について理解する。	○	◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2 3	「白楽天」長恨歌	○「長恨歌」の時代背景を理解する。 ○作者白楽天について理解する。 ○繰り返し朗読してあらすじをとらえる。 ○楊貴妃の美しさと，周囲の人々の反応をまとめる。 ○楊貴妃死後の漢皇（玄宗）の落胆の様子を理解する。 ○道士による楊貴妃の霊魂の探索の表現を読み取る。 ○この詩の主題を考える。	○	◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 c：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：読む能力　　c：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。